

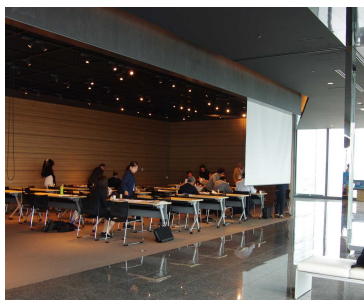
の際に召し上がっていただいた新潟 B 級グルメ「タレカツ丼」と、本会のロゴの色に合わせて特注したオーガニックドーナツも好評でした。その後の学術大会では一般演題 8 題が発表されました。どれも非常に濃い内容で、発表して頂きました先生がたには厚く御礼申し上げます。当日お手伝いしてくれた「第 8 代にいがた観光親善大使」の田中さんは新潟大学歯学部 の 2 年生ということで、お出迎えだけで

なく特別講演での撮影モデルも引き受けてくださり会場を大いに盛り上げてくれました。

末筆ながら、本大会で経験したことを活かして今後の歯科医療技術の発展に貢献して参りたいと思い、来年の千葉大会（大会長：日本大学松戸歯学部保存修復学講座、平山聡司先生）の成功と皆様がたの益々のご健勝とご活躍をお祈りいたします。



① 特注ドーナツ



② 常任理事会



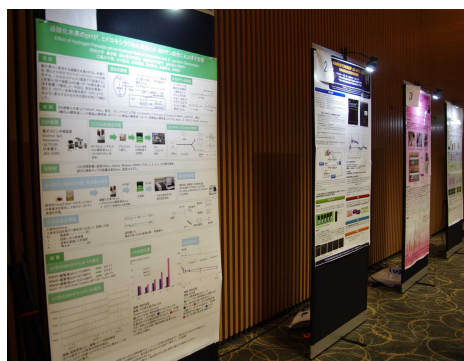
③ 役員会会場からの眺望



④ にいがた観光親善大使



⑤ 総会・学術大会



⑥ ポスター発表



⑦ 特別講演（松本明彦先生）



⑧ 特別講演（岡田康男先生）



⑨ 懇親会

平成29年度 日本歯科色彩学会講習会 報告書

講習会委員会 委員長 細矢由美子

講習会日時：平成 29 年 7 月 2 日（日）

講演タイトルと講演者（敬称略）

＜必須コース＞

“眼について、色覚について”

植木 智志：新潟大学脳研究所 統合脳機能研究センター

＜応用コース＞

“テトラサイクリン変色歯治療は患者の QOL を変えたか？ 30 年間を振り返って”

福島 正義：新潟大学大学院医歯学総合研究科 口腔保健学分野



必須コース講師
植木智志 先生



応用コース講師
福島正義 先生

受講状況

＜必須コース＞

受講者数（講習会カード提出者数）：20 名

＊講習会カード未提出：不明

会員：20 名、非会員：0 名

認定士資格：有（7 名）、無（13 名）

認定士資格無し 13 名中、資格取得予定：有（9 名）、無（2 名； 会員 2 名）、回答無し（2 名； 会員 2 名）

＜応用コース＞

受講者数（講習会カード提出者数）：19 名

＊講習会カード未提出：不明

会員：19 名、非会員：0 名

認定士資格：有（7 名）、無（12 名）

認定士資格無し 12 名中、資格取得予定：有（9 名）、無（3 名； 会員 3 名）、回答無し（0 名）

受講後の感想

＜必須コース＞：感想文の提出者：12 名

色覚について良く理解できた（8 名）

非常にわかりやすい内容であった（6 名）

眼のことがよくわかった（5 名）

非常に興味深い講演であった（4 名）

白内障の事がよくわかった（3 名）

色覚と錐体の関係が理解できた（2 名）

色覚異常の人について考えるきっかけになった（2 名）

眼、色覚と脳の関係は、発達過程において大変重要だと感じた（1 名）

ブルーライトについてももう少し知りたかった（1 名）

色の感じ方や色覚の処理についてもっと知りたい（1 名）

白内障以外の症例の話も聴きたかった（1 名）

歯科診療を行なう上で、眼科領域の知識を深める必要がある（1 名）

本講演会で定期的に眼科領域の講演を採用して欲しい（1 名）

良く理解できなかった（1 名）

＜応用コース＞：感想文の提出者：11 名

豊富な資料で面白かった（5 名）

変色歯の患者に対する対応について再認識した
(3名)

よくまとまっていた (2名)

テトラサイクリン変色歯はあまり見なくなった
が、患児が来院したら、母親に詳しく説明できる
(1名)

変色歯についておさらいができた (1名)

テトラサイクリン変色歯は、過去の物になって欲
しい (1名)

審美補綴と審美歯科中心に診療しているので、近
親感があった (1名)

形成不全を伴う症例の原因別の治療法について
も知りたかった (1名)

テトラサイクリン変色歯の患者にであった事が
無いので、勉強になった (1名)

テトラサイクリン変色歯の知識は大学で学んだ
範囲であったが、新たな知識を得られた (1名)

マイコプラズマ肺炎で TC 投与の患者への変色
歯発生が危惧される (1名)

講習会名や座長名を間違えていたなど、マナーに
注意して欲しい (1名)

色が心理に及ぼす影響について、講習会で定期的
に取り上げて欲しい (1名)

<講習会委員長のつぶやき>:

本講習会の講習会要領を参考に記載します。

**本講習会の名称は、“日本歯科色彩学会講習会”で
あり、“日本歯科色彩学会認定士講習会”ではありま
せん。**

本講習会の目的は、会員の色彩学に対する能力の
向上を図るとともに、歯科色彩認定士申請あるいは
認定士更新の必要要件を満たすことを目的として
います。したがって、受講者は会員、非会員を問わ
ず、色彩学に興味を有している人を対象にします。

受講資格は、

- ・色彩学会会員で年会費、大会費、講習会費を支払
った者。(年会費については後日、学会本部が確
認します。)
- ・非会員で当日会費、講習会費を支払った者。

開催時期・場所・運営方法

原則として、日本歯科色彩学会学術大会と併せて
開催します。

平成29年度日本歯科色彩学会表彰選考委員会報告

優秀論文選考(表彰)委員会 委員長 平山聡司

昨年の第 24 回学術大会における口頭発表と日本
歯科色彩学会の学会誌「歯科の色彩」23 巻 1 号に掲
載された論文について表彰選考委員会で検討いたし
ましたところ、以下の論文と発表が平成 29 年度日
本歯科色彩学会賞および奨励賞と決定しましたので
報告いたします。

<発表>

【学会賞】

演題名：修復用コンポジットレジンのサーモクロ

ミズム

発表者：有川裕之

【奨励賞】

演題名：オペーク陶材とデンティン陶材の厚さが
陶材焼金属冠の色調に及ぼす影響

発表者：隅田健吾、高橋英和

<論文>

【学会賞】

論文名：コンポジットレジンの仕上げ研磨が表面

性状と色彩に及ぼす影響

発表者：吉田智学、玄 太裕、堀田正人

【奨励賞】

該当なし

ここで紙面をお借りして日本歯科色彩学会表彰選考について説明いたします。

表彰は、「歯科の色彩」に掲載された論文と学術大会における口演またはポスター発表の中から特に優秀と認められた論文・発表に対して表彰いたします。

また、表彰には「学会賞」と「奨励賞」があります。「学会賞」は筆頭著者および筆頭発表者の年齢に制限がありませんが、「奨励賞」は若手歯科色彩研究者の育成という目的から論文受理時の筆頭著者の年齢が 37 歳未満、発表時の筆頭演者の年齢が 30 歳未満という規定がございますのでご注意ください。

論文に関する主な選考基準は、①研究テーマにオリジナリティーがあるか、②歯科色彩分野における科学的な重要性があるか、③歯科色彩分野における臨

床的重要性があるか、④記載内容は研究目的、実験方法および結果に基づき適切に記述されているか、⑤図表の記載は適切か、⑥参考文献が適切に引用されているか等です。

発表に関する主な選考基準は、上記の①～⑤の項目のほかに、⑥プレゼンテーションが見やすく美しく仕上がっているか⑦次の研究に繋がる将来性があるのか等々、質疑応答を通じて評価しています。若手研究者にとっては厳しい指摘があるかもしれませんが、評価委員は少しでも内容のある研究を、そして歯科色彩研究者を育成する思いでアドバイスをしています。

歯科色彩学会の皆様におかれましては、学会賞、奨励賞へのノミネートのために「歯科の色彩」24 巻への論文投稿と平成 30 年 7 月 22 日（日）に千葉県柏市柏の葉カンファレンスセンターで行われる第 26 回学術大会へのポスター発表を奮ってお願いいたします。

2016年度 日本歯科色彩学会 Nikon見学会 開催される

見学会委員会 委員長 中澤 章

2017 年 3 月 5 日（日）、品川のニコン株式会社本社セミナールームにて、26 名の参加を得て見学会が開催されました（申込は定員の 30 名）。今回は 2005 年に開催し、大好評を得たセミナーの続編の実習付きセミナーでした。講師の先生は、前回と同じく（株）ニコンイメージングジャパン、ニコンカレッジ講師、フォトコンサルタントの倉持 永氏でした。午後の半日を使い口腔内撮影、顔貌撮影、動画撮影についての解説と実技指導をしていただきました。

まずは、歯科におけるデジタル一眼レフの設定や使い方を、一人 1 台の D7100 を操作しながら解説していただきました。ISO 感度、画質モード、撮影モ

ード、シャッタースピード、絞り、ピクチャーコントロール、WB、プリセットなど、盛沢山の内容でした。その後、R1C1 のスピードライト 2 灯に付属のディフューザーを装着し、口腔内撮影仕様としたカメラで、実際に各自歯牙模型を撮影しました。普段 TTL 撮影をされている先生も多いと思いますが、それではホワイトニング術前・術後の撮影などでは、露出が変わってしまい比較が困難になってしまいます。そこで適当と思われるマニュアル設定を決めていただき撮影実習をしました。

休憩をはさんでの顔貌撮影では、参加者のお一人にモデルになっていただき、スピードライトを使っ

たバウンス撮影、レフ板の使い方をデモしていただきました。アイキャッチの有無による表情の変化には、一同感嘆の声が上がっていました。レフ板がない場合には、セミナールームにあるような白い机を前にして撮影してもよいなど、簡単に使えるテクニックも伝授していただきました。

一眼レフカメラを使った動画撮影は、時間が短いだけでビデオ撮影よりも画質がよいことや、Rawデータの扱いまで、カメラに詳しい方にも満足いただけるような充実した講習会でした。初学者にはちょっと速すぎると思われるような内容量の多さで、機会があれば再度の講習あるいは、ニコンと学会推奨



の冊子などを企画してもよいのではと感じました。また、術前・術後の撮影には、やはりフラッシュマチックの新しいメディカルニッコールがほしいと再認識をしたので、レンズの復活もお願いしてきました。

最後になりましたが、機材の準備はもとより、歯科に特化した素晴らしいセミナーを開催していただいた、倉持 永先生、(株)ニコン、(株)ニコンイメージングジャパンの皆さまに厚く御礼申し上げますとともに、ご参加いただいた皆さま、ご尽力いただいた見学会委員・学会事務局の先生に感謝申し上げます。



【編集後記】

2017 年度より、ニュースレター編集委員会の委員長を仰せつかりました。どうぞよろしくお願いいたします。

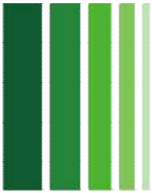
日本歯科色彩学会のニュースレターは、1994 年 3 月に第 1 号が発行されました。当時の橋口緯徳会長と片山伊九右衛門副会長が編集責任者となり、「手作りで」編集作業を行ったことが明記されています。また、内容も学会設立（当時は研究会）のための活気あふれる準備委員会の開催状況や、学会誌「歯科の色彩」創刊号の希望に満ちた発刊告知など、当時の様子が目に浮かぶような記事が満載です。

時は流れて 23 年、本ニュースレターも第 60 号

の発行となり、本号より紙媒体ではなくネット配信が開始されることとなりました。確かに紙面での送付は費用もかかり、保存するにもかさばるなど時代の要求に合わなくなっているのだと思います。ただ、今後は読者が学会ホームページを訪れていただかないと、単なるネット空間の塵となってしまう可能性も秘めています。多くの会員の皆様に当学会の旬なトピックスに触れていただけるよう、新たな対応が必要になるかもしれません。配信形態が時の流れとともに変化しても、このニュースレターが役割を立派に果たしていけるよう、微力ながら頑張りたいと思います。

（文責：金子 潤）

日本歯科色彩学会 ニュースレター編集委員会 元呑昭夫、齊藤 誠、中山友克、金子 潤



学会事務局よりお知らせ



役員名簿(敬称略、50 音順)

平成 29 (2017) 年 4 月 1 日～平成 31 (2019) 年 3 月 31 日まで

会長(1)

堀田正人

副会長(3)

阪 秀樹、新海航一、中澤 章

監事(2)

片山 直、大金 誠

常任理事(16)

市村 葉、勝海一郎、金子 潤、木暮ミカ、齊藤 誠、末瀬一彦、高橋英和、東光照夫、永井茂之、
中山友克、平山聡司、細矢由美子、宮崎 隆、宮崎真至、向山賢一郎、元呑昭夫

理事(33)

岩崎 覚、大西孝宣、岡田嘉代、小澤有美、鬼島成和、久保茂正、河野善治、澤田智史、澤田智慈、
鈴木伸宏、高橋洋子、高宮紳一郎、田中 誠、玉岡慶鐘、永澤 栄、中城基雄、西村耕三、橋口英生、
坂 清子、星野睦代、松浦智二、村井宏隆、桃井保子、森 純信、山鹿洋一、山口秀紀、山口龍司、
山崎信夫、遊亀裕一、横瀬敏志、吉田周平、葭田秀夫、和田弘毅

評議員(18)

天谷哲也、有川裕之、五十嵐 洋、小川恵治、小竹宏朋、佐藤郁夫、白石 充、進藤聖士、関根哲子、
中浦清人、野島 洋、東 竜太郎、三次義和、三好博文、棕梨兼彰、柳川直子、吉野 諭、吉村浩一

名誉会長(1)

久光 久

名誉会員(12)

天笠光雄、天野義和、生田博康、加藤喜郎、桑田正博、高 承志、河野 篤、腰原 好、下河辺宏功、
花田晃治、松尾 通、神津 瑛

幹事(1)

小竹宏朋

事務局(2)

日下部修介、玄 太裕

_____：新任(敬称略)

担当・委員会委員

平成 29（2017）年 4 月 1 日～平成 31（2019）年 3 月 31 日まで

1.総務担当

小竹宏朋

2.庶務担当

日下部修介、玄 太裕

3.財務担当

委員長：中澤 章

委 員：勝海一郎

4.監事

片山 直、大金 誠

5.編集委員会

委員長：東光照夫

委 員：齊藤 誠、新海航一、細矢由美子、元呑昭夫、金子 潤

6.ニュースレター編集委員会

委員長：金子 潤

委 員：元呑昭夫、齊藤 誠、中山友克

7.ホームページ委員会

委員長：木暮ミカ

委 員：片山 直、末瀬一彦、永井茂之、向山賢一郎、元呑昭夫

8.講習会委員会

委員長：細矢由美子

委 員：片山 直、新海航一、堀田正人、宮崎真至

9.見学会委員会

委員長：中澤 章

委 員：木暮ミカ、永井茂之、平山聡司

10.優秀論文選考(表彰)委員会

委員長：平山聡司

委 員：阪 秀樹、新海航一、高橋英和、東光照夫、永井茂之、細矢由美子、元呑昭夫

11.認定士委員会

委員長：阪 秀樹

委 員：片山 直、中山友克、宮崎 隆、元呑昭夫

12.会則検討委員会

委員長：齊藤 誠

委 員：勝海一郎、木暮ミカ、平山聡司、末瀬一彦

13. 渉外委員会

委員長：新海航一

委員：元呑昭夫、永井茂之

_____：新任(敬称略)

新入会員

堀田一正 おざわ歯科医院
森田徳英 松丸歯科矯正歯科医院
佐藤史明 日本歯科大学新潟生命歯学部研究科
硬組織機能治療学
吉川和子 昭和大学歯学部歯科保存学講座美容
歯科学部門

土沢誠一 クリスタルデント
江川広子 明倫短期大学歯科衛生士学科
小野真奈美 明倫短期大学歯科衛生士学科
計良倫子 明倫短期大学歯科衛生士学科
原 将人 東京歯科大学（準会員）

● 年会費納入のお願い

年度初めに機関誌と一緒に年会費納入のお知らせを同封させていただきました。未納の会員の皆様は、下記の郵便局口座に必要事項を明記の上お振込み下さい。よろしくお願いいたします。

振込先 郵便振替口座 00850-6-184321
口座名「日本歯科色彩学会」

住所等の変更がありましたら必ず明記をお願いいたします。

日本歯科色彩学会 事務局

〒501-0296

岐阜県瑞穂市穂積 1851-1

朝日大学歯学部口腔機能修復学講座歯科保存学分
野歯冠修復学

玄 太裕

gen_taiyu@dent.asahi-u.ac.jp

Tel 058-329-1442 Fax 058-329-1442

日本歯科色彩学会 平成 28(2016)年度決算

平成28(2016)年4月1日～平成29(2017)年3月31日

	項 目	2016年度 予 算	2016年度 決 算	増 減	執行率	備 考
収入	会費収入	1,810,000	1,555,000	-255,000	85.9%	
	1, 入会金	30,000	25,000	-5,000	83.3%	5,000×5名
	2, 本年度会費	1,250,000	1,035,000	-215,000	82.8%	10,000×103名 5,000×1名(会員数150名,準会員1名,名誉会員12名,名誉会長1名,納入率68.2%)
	3, 過年度会費	350,000	315,000	-35,000	90.0%	10,000×27名 次年度年会費+入会金15,000×3名を含む
	4, 賛助会費	180,000	180,000	0	100.0%	30,000×6社
	事業収入	820,000	527,145	-292,855	64.3%	
	1, 論文掲載料	600,000	241,359	-358,641	40.2%	歯科の色彩 第22巻1号 2件
	2, 広告掲載料	70,000	0	-70,000	0.0%	
	3, 講習・見学会等	150,000	285,786	135,786	190.5%	第24回大会認定士講習会費207,786 見学会参加費(26名)78,000
	雑収入	50,000	25,294	-24,706	50.6%	
	1, 著作・印税等	45,000	25,294	-19,706	56.2%	科学技術振興機構864 学術著作権協会23,566 NPO医学中央雑誌864
	2, 雑入	5,000	0	-5,000	0.0%	
	当期収入合計	2,680,000	2,107,439	-572,561	78.6%	
	前期繰越金	3,359,972	3,359,972	0	100.0%	
	収入合計	6,026,948	5,467,411	-559,537	90.7%	

	項目	2016年度 予 算	2016年度 決 算	増 減	執行率	備 考
支出	事業費	2,030,000	1,868,554	-161,446	92.0%	
	1, 学術大会運営費	500,000	500,144	144	100.0%	第24回大会(東京医科歯科大学)への補助金500,144
	2, 学会誌	1,000,000	854,664	-145,336	85.5%	歯科の色彩 第22巻1号
	3, ニュースレター費	100,000	59,173	-40,827	59.2%	ニュースレター59号
	4, 調査研究費	30,000	0	-30,000	0.0%	
	5, ホームページ維持費	170,000	170,864	864	100.5%	年間サーバー管理・ドメイン登録・更新料
	6, 講習・見学会費	250,000	283,709	33,709	113.5%	第24回大会講師講演料2名120,000 表彰楯6,264 見学会ポスター55,728 見学会講師料100,000 見学会お菓子代1,717
	管理費	700,000	540,508	-159,492	77.2%	
	1, 会議費	150,000	95,313	-54,687	63.5%	常任理事会会議室料46,008×2 飲み物・会合費3,297
	2, 交通費	250,000	250,000	0	100.0%	常任理事会等
	3, 渉外費	60,000	82,740	22,740	137.9%	日本歯科系学会協議会50,340 新聞クイント名刺広告16,200×2
	4, 通信連絡費	100,000	31,678	-68,322	31.7%	雑誌,書類郵送
	5, 事務委託費	80,000	80,000	0	100.0%	事務局諸経費
	6, 事務費	80,000	777	-79,223	1.0%	文具
	雑費	20,000	0	-20,000	0.0%	
	予備費	20,000	0	-20,000	0.0%	
	当期支出合計	2,770,000	2,409,062	-360,938	87.0%	
	当期収支差額	-90,000	-301,623	-211,623	—	
	次期繰越金	3,256,948	3,058,349	-198,599	—	

上記、平成 28(2016)年度収支決算は慎重な監査の結果、相違ないものと認めます 平成 29(2017)年 3 月 31 日 片山 直 大金 誠

日本歯科色彩学会 認定士委員会 平成 28(2016)年度決算

2016年度		日本歯科色彩学会 認定士委員会		決算報告		2016年4月1日～2017年3月31日
科目		2016年度予算	2016年度決算	増減	執行率	備考
歳入の部	款 項					
	1.登録料収入	480,000	200,000	-280,000	42%	
	1.申請料	50,000	10,000	-40,000	20%	10,000×1名
	2.登録料	150,000	30,000	-120,000	20%	30,000×1名
	3.更新料	280,000	160,000	-120,000	57%	20,000×8名
	2.事業収入	50,000	0	-50,000	0%	
	1.講習会参加費	50,000	0	-50,000	0%	
	2.その他	0	0	0	0%	
	3.雑収入	0	32	32	0%	
	1.雑入	0	32	32	0%	銀行利息(8/22:17, 2/20:15)
	当期収入合計	530,000	200,032	-329,968	38%	
	前期繰越金	3,276,409	3,276,409	0	100%	
	収入合計	3,806,409	3,476,441	-329,968	91%	

2016年度予算		2016年度決算		増減		備考
科目					執行率	
歳出の部	款 項					
	1.事業費	600,000	0	-600,000	0%	
	1.講習会開催費	300,000	0	-300,000	0%	
	2.出版物	300,000	0	-300,000	0%	
	3.その他	0	0	0	0%	
	2.管理費	170,000	2,672	-167,328	2%	
	1.会議費	50,000	0	-50,000	0%	
	2.交通費	30,000	1,340	-28,660	4%	講習会打合せ
	3.費用弁償費	30,000	0	-30,000	0%	
	4.通信連絡費	30,000	1,332	-28,668	4%	切手(52×9,82×2,140×5)
	5.事務費	30,000	0	-30,000	0%	
	3.雑費	10,000	0	-10,000	0%	
	4.予備費	20,000	0	-20,000	0%	
	当期支出合計	800,000	2,672	-797,328	0%	
	当期収支差額	-270,000	197,360	467,360	-	
	次期繰越金	3,006,409	3,473,769	467,360	116%	

上記2016年度収支決算は慎重監査の結果、相違ないものと認めます

2017年3月31日

片山 直 印 大金 誠 印

日本歯科色彩学会 認定士委員会 平成 29(2017)年度予算

2017年度		日本歯科色彩学会 認定士委員会		予算(案)		2017年4月1日～2018年3月31日
科目		2016年度予算	2017年度予算	増減	増減率	備考
歳入の部	款 項					
	1.登録料収入	480,000	200,000	-280,000	-58%	
	1.申請料	50,000	50,000	0	0%	10,000×5名
	2.登録料	150,000	150,000	0	0%	30,000×5名
	3.更新料	280,000	0	-280,000	-100%	20,000×0名(今年度、更新者なし)
	2.事業収入	50,000	50,000	0	0%	
	1.講習会参加費	50,000	50,000	0	0%	
	2.その他	0	0	0	0%	
	3.雑収入	0	0	0	0%	
	1.雑入	0	0	0	0%	
	当期収入合計	530,000	250,000	-280,000	-53%	
	前期繰越金	3,276,409	3,473,769	197,360	6%	
	収入合計	3,806,409	3,723,769	-82,640	-2%	

2016年度予算		2017年度予算		増減		増減率	備考
科目							
歳出の部	款 項						
	1.事業費	600,000	130,000	-470,000	-78%		
	1.講習会開催費	300,000	80,000	-220,000	-73%		
	2.出版物	300,000	50,000	-250,000	-83%	配布物、資料のための原稿作成費	
	3.その他	0	0	0	0%		
	2.管理費	170,000	100,000	-70,000	-41%		
	1.会議費	50,000	20,000	-30,000	-60%	講習会、出版物等 事業の打ち合わせ会議	
	2.交通費	30,000	20,000	-10,000	-33%	講習会、出版物等 事業の打ち合わせ会議	
	3.費用弁償費	30,000	20,000	-10,000	-33%	講習会、出版物等 事業の打ち合わせ会議	
	4.通信連絡費	30,000	20,000	-10,000	-33%	講習会、出版物等 事業の打ち合わせ会議	
	5.事務費	30,000	20,000	-10,000	-33%		
	3.雑費	10,000	10,000	0	0%		
	4.予備費	20,000	10,000	-10,000	-50%		
	当期支出合計	800,000	250,000	-550,000	-69%		
	当期収支差額	-270,000	0	270,000	-		
	次期繰越金	3,006,409	3,473,769	467,360	16%		

日本歯科色彩学会 平成 29(2017)年度予算

平成29(2017)年4月1日～平成30(2018)年3月31日

	項 目	2016年度 予 算	2017年度 予 算	増 減	増減率	備 考
収入	会費収入	1,810,000	1,670,000	-140,000	92.3%	
	1, 入会金	30,000	40,000	10,000	133.3%	8名新入会員増
	2, 本年度会費	1,250,000	1,150,000	-100,000	92.0%	
	3, 過年度会費	350,000	300,000	-50,000	85.7%	30名×10,000
	4, 賛助会費	180,000	180,000	0	100.0%	
	事業収入	820,000	500,000	-320,000	61.0%	
	1, 論文掲載料	600,000	200,000	-400,000	33.3%	
	2, 広告掲載料	70,000	50,000	-20,000	71.4%	2社
	3, 講習・見学会等	150,000	250,000	100,000	166.7%	
	雑収入	50,000	30,000	-20,000	60.0%	
	1, 著作・印税等	45,000	30,000	-15,000	66.7%	
	2, 雑入	5,000	1,000	-4,000	20.0%	
	当期収入合計	2,680,000	2,200,000	-480,000	82.1%	
	前期繰越金	3,359,972	3,058,349	-301,623	91.0%	
	収入合計	6,026,948	5,258,349	-768,599	87.2%	

	項目	2016年度 予 算	2017年度 予 算	増 減	増減率	備 考
支出	事業費	2,030,000	1,601,000	-429,000	78.9%	
	1, 学術大会運営費	500,000	500,000	0	100.0%	
	2, 学会誌	1,000,000	700,000	-300,000	70.0%	
	3, ニュースレター費	100,000	30,000	-70,000	30.0%	
	4, 調査研究費	30,000	1,000	-29,000	3.3%	
	5, ホームページ維持費	170,000	170,000	0	100.0%	
	6, 講習・見学会費	250,000	200,000	-50,000	80.0%	
	管理費	700,000	515,000	-185,000	73.6%	
	1, 会議費	150,000	70,000	-80,000	46.7%	
	2, 交通費	250,000	250,000	0	100.0%	
	3, 渉外費	60,000	80,000	20,000	133.3%	
	4, 通信連絡費	100,000	30,000	-70,000	30.0%	
	5, 事務委託費	80,000	80,000	0	100.0%	
	6, 事務費	80,000	5,000	-75,000	6.3%	
	雑費	20,000	1,000	-19,000	5.0%	
	予備費	20,000	1,000	-19,000	5.0%	
	当期支出合計	2,770,000	2,116,000	-654,000	76.4%	
	当期収支差額	-90,000	84,000	174,000	—	
	次期繰越金	3,256,948	3,142,349	-114,599	—	